「東北電力グループ経営ビジョン」の概要

- 当社はこれまで同様，経営の存立基盤が東北地域にあることを基本に，地域の発展が当社の発展に結びつき，また，地域と共に成長し続ける企業であるとの考え方を，事業推進の根幹に据えていく。
- 市場競争や需要の変動，地球温暖化対策等への対応に伴うコストの増加など，今後，様々な経営環境変化が生じる中でも，公益性と私企業性の両立のもと，安定供給，環境適合，経済性の同時達成という，東北電力としての使命を果たし続ける。そのため，経営全般において当社自らがその様な変化に能動的に適応し，事業運営を進化させていく。
- 「地域と共に歩む，地域にとって必要不可欠な企業であり続ける」ために，これまで積み重ねてきた経営基盤をさらに強靭なものに築き上げていく。その上で，当社がこれまで培ってきた地域との強い絆を基盤とした，様々なサービスや地域活性化への支援など，当社独自の価値を地域と共に創り上げる経営を目指していく。
- 「原子力発電所の品質保証に係る意識改革元年」に常に立ち返り，安全最優先のたゆまぬ努力を継続し，安全文化を組織に深く根付かせ，今後も安定供給の確保と効率経営の推進を実践していく。

経営理念

地域社会との共栄

創造的経営の推進

経営環境の将来展望

【経済社会の基本潮流】

- ○人口減少社会への転換
- ○低炭素社会の実現に向けた取組み
- ○資源確保が困難な時代へと移行
- ○世界経済の新たな秩序の模索

【当社経営への影響】

○エネルギー利用・供給形態の変化による電力需要の変動

電気利用拡大，省エネ進展，新技術の普及拡大，市場競争環境変化の可能性があり，不確実な需要変動への対応が必要

○地球温暖化対策等への対応に伴うコストの増加

地球温暖化対策の強化やエネルギー資源の確保など事業運営上のコストが増加する可能性があり，一層の効率経営の推進が必要

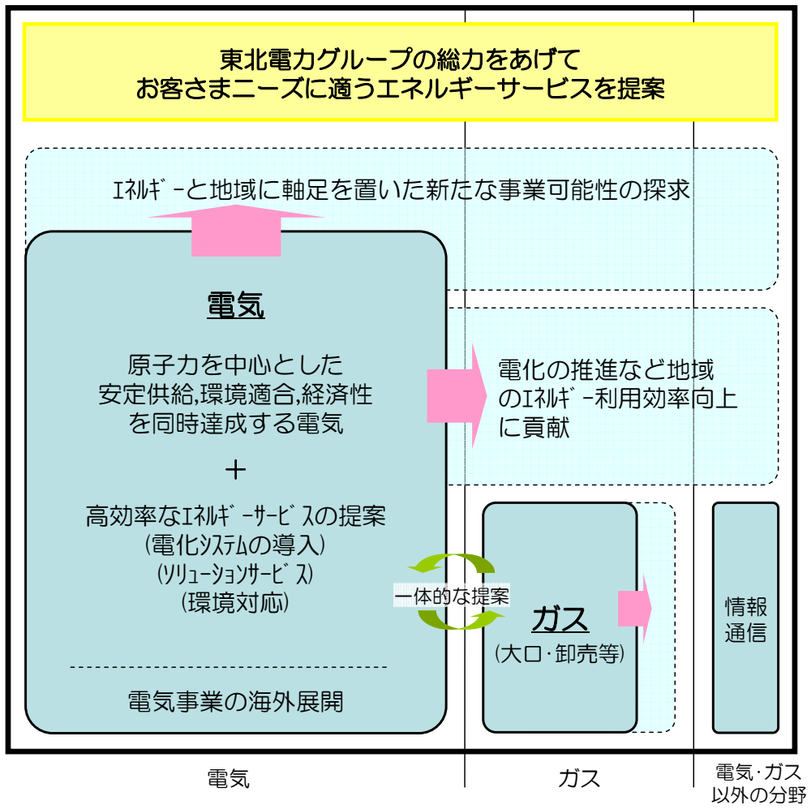
○東北地域の社会変化を踏まえた事業運営・地域との連携の必要性

人口・世帯数の減少など東北地域の変化を踏まえ，地域と共に成長するパートナーとしての連携の強化が必要

企業グループ像

地域と共に歩む複合エネルギーサービス企業
～エネルギーのことなら東北電力グループに～

東北電力グループは，安全確保を大前提として，電気とガスを中心に，地域のエネルギー利用効率向上に貢献できる質の高いエネルギーサービスを提案します



事業運営の方向性

1．原子力を中心としたエネルギー供給の推進
－安定供給，環境適合，経済性の同時達成－

(1) 原子力の着実な推進などによる電源ベストミックスの実現
超長期的に発電電力量に占める原子力発電比率40%程度を目指す，
自然エネルギーや火力発電の特性を活かした電源ベストミックス実現 等

(2) 原子力発電所の設備利用率向上に向けた事業運営の遂行
原子力マネジメント向上，人材確保･育成，技術力向上 等

2．地域のエネルギー利用効率向上に向けた取組み

(1) エネルギー利用効率向上の提案を通じた地域への貢献
電化市場創造，東北地域の特性に合致したエネルギー利用・ソリューション提供

(2) エネルギー利用･供給形態の変化に対応する技術開発，事業可能性の探求

3．収支安定性の向上に向けた事業運営の推進

(1) 収支に影響を与える不確実な要因への対応力の強化
エネルギー需要の創造を通じた収入基盤の安定，
投資･コストの適正管理による収支安定性の向上，リスクへの対応強化

(2) 総合力発揮に向けた企業グループ経営の推進
施工品質･安全管理体制の確立，グループ会社間相互の人材活用などグループ一体の経営

(3) 安全確保，安定供給を徹底する企業文化の定着と事業運営の推進
「原子力発電所の品質保証に係る意識改革元年」(平成18年度)の取組みを継承，
安全確保最優先の行動・常に問い直す習慣・情報共有を基本に安全文化を根付かせる，
全ての業務品質の向上 等

4．将来の成長を支える人材の育成

(1) 将来の環境変化に適応できる人材の確保・育成
地球規模の課題に対応できる人材・「現場」を支える人材の育成

(2) 一人ひとりの創意工夫を経営に活かす取組みの実践
社員能力を最大限発揮できる職場環境づくり，業務品質･生産性向上

5．地域と共に成長するための連携の強化

(1) 東北地域と共に成長できる活動の推進
地方自治体の事業･活動等への支援･協力，
文化・スポーツ振興や次世代層支援などの地域に密着した活動の継続

(2) 円滑な事業運営につながる地域との対話の推進
人的ネットワークの構築を進め地域との緊密な連携の強化